



竹とんぼを楽しむイディナ高校と海星学院高校の生徒たち

すっかりフレンド

米の高校生、海星学院生と交流

室 蘭

アメリカ・ミネソタ州のイディナ高校の2、3年生6人が8日夜から、室蘭・海星学院高校(堺俊光校長、237人)を訪れている。9日は同校の生徒とゲームなどを通して交流した。日本語コースの受講者が夏休みを利用して来日。6

人は8日夜に室蘭へ到着。室蘭、登別両市の小中学校訪問はじめ、室蘭市内や登別温泉を観光するスケジュール。13日まで滞在する。9日は海星学院で交流会

を行った。海星学院の1年生は竹とんぼを紹介。2人一組になり、扇子を使って紙風船をはねつきの要領でパスをしながらリレーするゲームを楽しんだ。両校の生徒たちは、日本語と英語を組み合わせて意思疎通を図っていた。

ロウエル・フェルドハンさん(18)は「海星学院の生徒たちは親切。すぐに打ち解けられて良かった」と初来日を満喫していた。

大友琴響さん(海星学院高校1年)は「普段接することができないので、コミュニケーションを取って仲良くなりたい」と意気込んでいた。(池田勇人)